



箕面市議会「市民ネットワーク」

中西とも子の市政報告&タウンミーティング

無料

11月2日(日) 午後2時～

場所：箕面市立中央生涯学習センター 3階講座室
(メイプルホールの建物)

9月議会(9月2日～10月6日)の報告と、市民のみなさんと対話型の集いをおこないます。市政への質問やご要望、ご提案など大歓迎。ざっくばらんに意見交換したいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

開かれた議会へ！ 議会改革

今期になり、議会を傍聴される方が減ってきたように感じます。分かりやすく、興味深い議会にするために、議員の発想の転換・議会の改革が急務です。

昨年度は、以下の取り扱いが決められました

- ①一般質問の一問一答方式の採用
- ②議員間の自由討議
- ③請願者の委員会発言
- ④要望書・陳情書の扱いに配慮
- ⑤理事者の確認権

今年度は、下記のテーマについて協議を進めています。

- ①常任委員会の放送・放映→実施へ ②議会報告会
- ③意見交換会

また、「議会だより編集会議」で、「議会だより」を見やすくするための協議が行われています。①全頁フルカラー②文字数を減らす③写真やイラストを増やすとのことですが、②については、発言者や発言内容を割愛する方向が決まりました。中西は①全頁フルカラーは不要②発言のカットは本末転倒③市民の声を取り入れた改善策を、と主張しています。誰のための、何のための「議会だより」なのか、議員と市民がしっかり議論・共有する必要があると考えています。

新たな担当が決まりました

これから1年間、中西は下記の担当になりました。

- ◎民生常任委員会・委員長(主に健康・福祉や医療、環境政策、市民サービスなど)
- ◎交通対策特別委員会委員
- ◎議会改革検討会議 専門部会委員

編集後記

議員数が2名削減されて3年目の秋を迎えています。「少数精鋭」は実現したのか？議会改革が検討されている一方で、「2元代表制」という議会の立ち位置が守られているとは言い切れず…市長も議員も市民の直接選挙で選ばれます。議会は市長と対等な立場で、予算や、その使われ方を厳しくチェックする役割があります。また、市民へ情報を提供し、声を聴き、政策を提案することが求められています。これからの「まちづくり」にしっかり貢献できる議会のために、苦言・提言等をお寄せいただければ幸いです。

12月議会のお知らせ

- 11月21日 議案送付(第4回定例会招集告示)
- 11月25日 意見書・決議案、請願締切(午後5時15分)
- 11月27日 議会運営委員会 午後1時
- 12月1日 本会議(条例、補正予算等の上程、説明、質疑等)
- 12月3日 文教常任委員会(予定)
- 12月4日 民生常任委員会(予定)
- 12月5日 建設水道常任委員会(予定)
- 12月8日 総務常任委員会(予定)
- 12月16日 議会運営委員会
- 12月18日 本会議(委員長報告・討論・採決・一般質問)
- 12月19日 本会議(一般質問)

*本会議・委員会は10時～です。

*一般質問は、インターネット録画もご覧いただけます。

中西とも子プロフィール



■1955年12月生まれ/京都女子高校・関西大学文学部卒/大学時代、「地域に開かれた大学」にしようと「公開自主講座」を主宰。新聞でとりあげられ好評を博す/通販会社「(株)ニッセン・ホールディングス」元社員、企画・編集担当/「市民オンズ箕面」副代表を経て現在、顧問/2004年8月、箕面市議会議員に初当選、現在3期目/趣味：山歩き、スキー、オフロードバイク、パステル画/無所属(政党や大きな組織、宗教団体等には所属していません)

2013年度 政務活動費 収支報告

収入 政務活動費54000円(1ヶ月45000円×12ヶ月)		
項目	金額	備考
調査研究費	0	
研修費	21,690	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	37,170	参考図書購入
広報費	0	
広聴費	0	
請願及び陳情活動費	0	
人件費	0	
事務費	458,070	事務用品購入・コピー機リース料・パソコン購入他
合計	516,930	
残額	23070円	※残金は市に返却

この通信は政務活動費で発行しています。

箕面市議会 市民ネットワーク通信 中西とも子の議会報告

Vol.1 2014年10月号

〒562-0003 箕面市西小路4-6-1 「市民ネットワーク」控室
Tel&Fax:072-724-6787
mail:t-nakanishi@gikai.city.minoh.osaka.jp

不透明、不公平なお金の使い方は改善を。 弱者の視点にたった政策を提案します!

8月の豪雨災害に遭われたみなさまには、心からお見舞い申し上げます。ふりかえって見えてきた課題を、これからの対策とまちづくりに生かさねばと考えています。

議員・議会をもっと変わらなくては!

また、議員の政務活動費や議会でのヤジ問題などが大きな話題となりました。箕面市議会の政務活動費は、すべて領収書と明細添付、説明責任が果たせるものしか認められていないため、適切に運用されています。しかし、このたびの批判の根っこには、「議員が市民の期待に応える仕事をしているか」という問題があると受け止めています。

この国の舵とりは、もはやレッドカード

一方、国の動きをみれば、景気対策の失敗と格差の拡大、消費税の値上げにもかかわらず社会保障は

不十分で、さらに生活者の負担が増すという理不尽なありさまです。集団的自衛権の行使容認、あいまいな運用規定のまま特定秘密保護法が年内に施行され、マイナンバー制度も問題を残しながら莫大な予算をかけて、市町村で整備が進んでいます。原発の再稼働や基地問題など、一般市民の安全・安心は遠のき、生きづらい物騒な社会を予感させます。

税金は公平・公正・透明性のある使いかたを! 弱者の視点を活かすべき!

さて、9月議会は、通常の条例や補正予算の審査とは別に、前年度の予算が適正に効果的に使われたかどうかをチェックする決算委員会がありました。

そこでも目立ったのは①予算をどのように使ったのか「公開性と説明責任が不十分」②特定の団体には甘い、という不平等性③市民の生活実態・費用対効果を見ない(例えば国保料金問題)市の姿勢が目立ちました。何事も派手な施策より、先々を見こした「税金が生きる」政策が必要です。

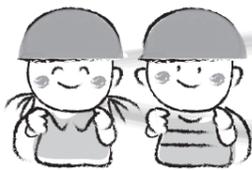
北急延伸には300億円以上を投資する計画ですが、将来、市民の生活を圧迫するのではないかと懸念されます。中西は鉄道が活かせる最善策とそれに向けた市民参画を求めています。ぜひ、市政への市民のみなさまのご意見等、お寄せくださるようお願いいたします。世代をこえて、安心し、心豊かに暮らせるまちづくりを、ぜひ一緒に。

中西とも子の政治スタイル

- 行政を厳しくチェックし、税金のムダ使いを許しません!
- 情報を公開し、市民のみなさまと一緒に問題解決をはかります!
- 社会的弱者の立場にたって行動します!
- 平和・人権・民主主義と環境を守ります!
- 組織にしばられることなく自分で考え、行動します!



中西とも子



防災・減災のまちづくり

～8月24日の豪雨災害を教訓に～



大雨の災害復旧現場視察
(2014.9.3)

中西 原因究明、整備について大阪府との具体的連携の進捗は？
ハザードマップの見直しや、記載されている箇所の整備状況は？
また大阪府との協議・要請は？

市 「水防政策推進課」を設置し、被害力所の詳細な原因分析、下水道施設、水路、ため池等の水防対策をトータルに検討する。大阪府と連携強化し、緊急連絡も取り合う。
未整備箇所(保全を要す5軒以上の家が集まる箇所のうち、土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所がそれぞれ14カ所が未整備)の早期対策工事の着手を府に求めている。

いる。
また、土砂災害の危険個所の指定を28年度までに完了するよう府に要請している。防災マップにも反映させる。

中西 災害にあわれた市民への説明を行ってほしい。今後、市民協働の(減災の)体制づくりのためにも重要だ。

市 地区防災委員会との連携、行政・市民が一体となった防災体制の構築を目指す

中西 希望する地域・市民には、住民説明会の開催を強く要望する。

8月24日の豪雨では、市内約10カ所で通行止め、36カ所で水路があふれたり、土砂が流れたり、なかには車が水に浸かり廃車になったケースもありました。

中西は補正予算の質疑と一般質問で、①実態把握と原因究明について②今後の対策について③災害弱者の視点で防災・減災を考えよう、と質しました。



箕面三丁目の様子

中西 住民参加での防災マップの作成や、兵庫県佐用町で実施している「災害モニター制度」、三重県尾鷲市の「住民主導型避難体制」などを参考に、住民が、地域の特性や課題を把握し、災害時の行動が判断できるようにすべき。その作業を通して、障がい者や、高齢世帯、小さな子のいる母子世帯などの災害弱者の視点を反映させることができる。

市 全市一斉訓練、地区防災員会での取り組みがあり、行政としてのサポートをやりたい。

中西 風水害時や大規模災害時の要援護者は、避難所までの移動が困難な場合が想

定できる。自宅待機が難しい場合は、自宅から身近なところで安全が確保できる場所を検討してはどうか？

市 避難所は小学1年生でも行ける場所である。自治会では配慮が必要な方の避難支援をしている。今後も自治会や地区防災委員会で取り組んでいただけるよう協議する。

中西 自治会加入率は50%だ。市は柔軟な地域のとりくみをバックアップして欲しい。

箕面市指定ごみ袋製造問題

公平・透明性のあるシェアを！



特定の事業所だけが製造している(特権)は何故？

市のごみ袋を製造する権利はこれまであかつき福祉会だけに与えられてきました。年間約700万枚、売り上げは8000万円以上です。しかし、あかつき福祉会だけでは製造が追いつかないため、あかつき福祉会が外部の業者へ発注するという構造になっています。中西は安定した収入が見込める事業なので、「障がい者の就労を支援する」という目的を考えれば、他の障がい者の事業所も平等に製造できるようにワーキングシェアすべきだと提案してきました。

市が払うのは1枚12.43円、シェアで支払われるのは1.28円
そこで、現在シェアの準備が進められていますが、本当に平等なシェア体制になっているのか、透明

性のある説明がなされているのかを問いました。

現在、市は30Lの燃えるごみ用の袋を1枚12.43円であかつき福祉会から購入しています。しかし、今回のシェアでは、あかつき福祉会が事業所に支払う工賃はわずか1.28円です。

それぞれの製造工程(資材原価、協力店への配送、折りたたんで10枚セットを袋に入れて圧着処理など)の分解見積もりを公開することで、誰もが納得できると思います。

しかし、市は「市にそのような権利はない」としふっており、市が指定管理事業として指示しているのにおかしな話です。

すべての事業所において障がい者の工賃アップにつながる支援を市が行うべきだと提案、要望しました。

決算審査(抜粋)

◎一般会計から 会計士も指摘した「不適切な会計処理」を、市は議会に隠していた!

民生部門では、あかつき福祉会における積立金を取り崩した高額な国債購入や小口現金の扱いなど、不適切な会計処理が発覚。議会に説明せず、事実を隠してきたことは大問題です。さらに会計監査で、会計士が「不適切」と指摘している項目についても「決めるのは市だ。問題ない」という市の対応も納得できません。その他、委託事業の会計処理の報告が不透明なものがあり、決算認定には賛成できませんでした。

◎国民健康保険 黒字でも保険料が安くないのは何故？

2013年度は約1億9千万円の黒字。それなのに、次年度の保険料の値下げに充てず、全額を累積赤字の穴埋めに。累積赤字の原因は、2002年度から、法定外繰り入れを極端に減額し、また2003年～2005年は繰り入れを0円にしたため、累積赤字が19億円強にふくらんだ。今日の赤字は、国保制度の

構造的な諸問題のほか、市が適切な法定外繰り入れを行わなかったことが要因であるといえます。

国保料金は世帯の可処分所得を考慮して決めるべき

なお、総所得208万円の子ども2人の4人世帯では47万1210円という保険料。所得比の22.6%に及びます。このような保険料



子ども・子育て支援条例 箕面市の積み上げてきた水準が「国基準」にレベルダウン

子ども・子育て関連3法の制定で、来春から保育所や幼稚園、学童保育の制度が変わります。この法律では、市町村が基本計画を策定し、その元となる条例を制定することに。各自治体の理念が問われました。近隣市では条例に手厚い基準を盛り込みましたが、箕面市は「国基準」の最低レベルに。またパブリックコメント(市民意見募集)も行わず、保護者からの批判も出ています。これも北急延伸のための儉約策?中西は他の議員らと修正案(従来の箕面の保育基準)に

がどれほど生活にひびくか、想像力を働かせるべきです。

モデル(1人)世帯の年額保険料の他市比較

総所得	収入額	概算	箕面市	豊中市	茨木市	摂津市
208万円	約323万円		391,578円	342,310円	285,745円	250,760円

※中西は、国保決算に反対しましたが、23人の議員のうち19人が賛成でした。

名を連ねましたが、4:18で否決。

自立支援給付と介護保険制度の併給問題が改善へ

これまで障がいのある高齢者の併給は原則的に認めない、という立場の箕面市でしたが、厚労省通知や近隣市の運用などを例に、在宅で自分らしく暮らせる支援(併給)が可能となるよう強く要望。「改善・検討する」という答弁を得ました。

通学路の防犯カメラ750台(70mに1台) 1億5千万円で、安全を買う?

警察からの強い要望があり、14小学校区に設置。維持管理費が約200万円、5~7年おきに更新の必要も。せめて半分の費用を人件費にあてて、血の通う見守りのまちづくりができないものか。